
デュアル・シュール

西崎想

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

デュアル・シユール

【Nコード】

N4377Z

【作者名】

西崎想

【あらすじ】

ニューヨークに一人の男が占い師をしていた。

男は、何かを待っていた。

そして、その待っていた、女が彼の前に現れた。

世界崩壊の序曲。それを止めそうとする二人の戦いが始まる。

プロローグ - 崩壊のカウントダウン -

西暦2091・ニューヨーク。

繁華街、裏通り。

ここは、浮浪者、酔っ払い、不良、など、気持ちの宜しくない、者たちがはびこっていた。

その、もう一つ下の、階段を降りたところにある、広場。

その一角に、ポツンと、テーブルに布をかけてあるだけの、簡単な店構えに、一人の男がいた。

彼は、どこか暗い表情の中に、一筋の光明が見える。

その男は、誰かを待っていた。

誰？

それは、その男本人にだってわからない。

男は、長い布……ローブを身にまとっていた。

きやつきやつ

何人かの、女の子たち、高校生が団体で通りかかった。

「ねえねえ」

その中の背の低い女の子が、ローブの男を指さして、

「あれ、占い師ー？」

「えー？なんかこわあ〜い」

「流行ってないんじゃない？」

「いーいー」

きやつきやつ

そう言いながら、女子高生たちは去って行った。
男が待っているのは、彼女たちではないようだ。

- 今日も、またダメか？

そう、男は湿っぽく思っていた。

その時だった。

カッカッ……

ヒールの音を響かしながら、一人の女が歩いてきた。

その女は、この通りには、おおよそ似つかわしくない、綺麗な姿をしていた。

女は、男へ近づいて行く。

そして、前まで来ると、歩みを止めた。

「貴方、占い師？」

「……ええ」

男は、ぶつきらばうに、それだけ言った。

「私のこと……占ってくださいさる？」

「……それが仕事ですから」

じつと、手相を見る、男。

- この人、変わってるな……。

そう思いながらも、

「恋愛運が良いですね」

ほとんどでたらめに、男はそう言った。

「まあ、ほんと?」

その割に、女は、良い反応をした。」
そして、

「その、水晶玉。使わないの?」

そう言った。

男は驚いて、女を見た。

「ねえ、どう?」

その女の角度からして、それは見えない角度にあったのだ。

・占つてみるか……。

そう思い、男は水晶玉を机に置いた。

……!?

「う……」

男は、そのイメージに眉をしかめた。

「ねえ、どう?」

「……」

男は一息ついて、

「世界は、崩壊に向かいます」

「へえ……? 怖いわね」

「私は貴方を、待っていました」

「あら、ほんと?」

女は少し笑みを浮かべた。

「私と……一緒に……来てくださいます?」

「あら? ナンパ?」

男は下を向いた。

そして、商売道具をしまい出した。

「いかがです?」

その女は、男にそういわねると、

にやあくと、笑い、

「いいわよ」

そう、言った。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4377z/>

デュアル・シュール

2011年12月15日01時48分発行